

# 事務事業チェックシート

事務事業No 719 事業名 定時制夜間給食事業

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	1	学校教育の充実
施策	5	高校教育の充実・高等教育機関との連携
基本方針	1	高等学校教育の充実

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間		～ 永年
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	市立和歌山高等学校	山本 昌之(461-3690)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計	一般会計	
	款	教育費	
	項	高等学校費	
	目	高) 学校管理費	
	大事業	高等学校管理事業	
事項	定時制夜間給食事業		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

### 1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	定時制課程で学ぶ勤労青少年に夜間給食を実施することで健全な発達、食生活の改善に寄与する。	定時制課程で学ぶ勤労青少年に夜間給食として、パン・牛乳・添加物(ジャム、バター他)を提供する。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		就職をしている生徒を対象にパンと牛乳による給食を実施。	就職をしている生徒を対象にパンと牛乳による給食を実施。			

### 2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	435	273	394	284	394		394		394	
伸び率 (%)	-	-	-9.4%		0.0%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	2,175	2,239	2,200	2,220	2,200		2,200		2,200
	非常勤職員	402	402	402	375	402		402		402
	小計	2,577	2,641	2,602	2,595	2,602		2,602		2,602
国庫支出金										
県支出金	85	55	131	52	131		131		131	
市債										
その他										
一般財源(税等)	350	218	263	232						
所要人数	常勤職員	0.29	0.29	0.29	0.30	0.29		0.29		0.29
	非常勤職員	0.19	0.19	0.19	0.19	0.19		0.19		0.19
主な予算内訳										

### 3 目標及び実績

指標名及び達成状況					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	受給者(給食を受けた生徒数)				年度目標値	30	27	27	27
					実績値	16	19		
	単位	人	全体目標値		全体目標達成度	53.0%	70.3%		
					年度目標値				
					実績値				
	単位		全体目標値		全体目標達成度				
成果指標	提供食率(提供生徒数/必要生徒数)				年度目標値	100	100	100	100
					実績値	100	100		
	単位	%	全体目標値		全体目標達成度	100.0%	100.0%		
					年度目標値				
					実績値				
	単位		全体目標値		全体目標達成度				
				年度別達成度					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している		横ばい	○ 減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	和歌山県が行う定時制課程夜食費補助金補助事業であり、教育の機会均等を保障するために勤労青少年の高等学校の定時制課程への修学を促進した。
「見直し」 「改善」案	和歌山県高等学校定時制課程夜食補助事業実施要綱の改定を働きかける。